



南海ビルが「大阪モデル」を周知します。

5月16日(土)から、大阪府独自の警戒基準の到達レベル にあわせて、南海ビルをライトアップします。

南海電鉄(社長:遠北光彦)では、2020年5月16日(土)から、南海ビル(大阪市中央区難波五丁目1番60号)の北側壁面において、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛要請・解除等の大阪府独自の基本的な考え方「大阪モデル」に基づく警戒基準の到達レベルにあわせて、緑・黄・赤の3色のいずれかでライトアップします。

大阪府内で同ライトアップの取組みが広がっており、当社もこの動きに賛同し、光のまちづくり推進委員会と地元の協力もいただき、創業の地であるなんばにおいて、歴史ある南海ビルをライトアップすることによって、新型コロナウイルス感染状況をわかりやすく周知します。詳細は以下のとおりです。







ライトアップイメージ (左から緑・黄・赤)

実施期間 2020年5月16日(土)~当面の間

※5月15日(金)は試験点灯によりライトアップを実施します。

点灯時間 18時30分~24時

実施内容 南海ビルの北側壁面において、「大阪モデル」に基づく警戒基準の到達レベル

にあわせて、緑・黄・赤の3色のいずれかでライトアップします。

実施主体 主催:南海電気鉄道株式会社

共催:ミナミまち育てネットワーク

後援:なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会

<参考>南海ビルについて

年譜 昭和 7年(1932年)7月 完成

平成21年(2009年)9月 伝統と先進をコンセプトとした美装改修工事が完成

平成23年(2011年)1月 国の登録有形文化財として登録

以上